

事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本総合整備計画事業

・安全・安心なみちづくり（第2期）（防災・安全）

《建設局土木部道路環境課》

公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要									
計画(事業)の名称		安全・安心なみちづくり (第2期) (防災・安全)							
計画(事業)の期間		令和8年度～令和12年度 (5年間)							
計画の目標		道路施設の的確かつ総合的な点検・調査や老朽化・耐震対策を実施することにより、安全・安心なみちづくりを目指す。							
計画の成果目標 (定量的指標)		広域ネットワークである埼玉県緊急輸送道路及び鉄道や高速道路を跨ぐ耐震補強対象橋りょうの整備率の向上を図る。							
		主要な幹線道路において、定期点検の結果より舗装の健全性が保たれている路線延長の割合の維持を図る。							
定量的指標 の定義及び 算定式						定量的指標の現況値及び目標値			
						当初現況値	中間目標値	最終目標値	
						(年度)	(年度)	(年度)	
	指標①	(完了橋梁数) / (対象橋梁数 (7 9 橋)) ×100				52%		62%	
	指標②	(舗装の健全性がⅠ若しくはⅡ (4.0<MCI) となる路線延長) / (主要な幹線道路の延長) ×100				90%		90%以上	
指標③									
全体事業費	合計(A+B+C)	9,874 (百万円)	A	9,874 (百万円)	B	(百万円)	C	(百万円)	

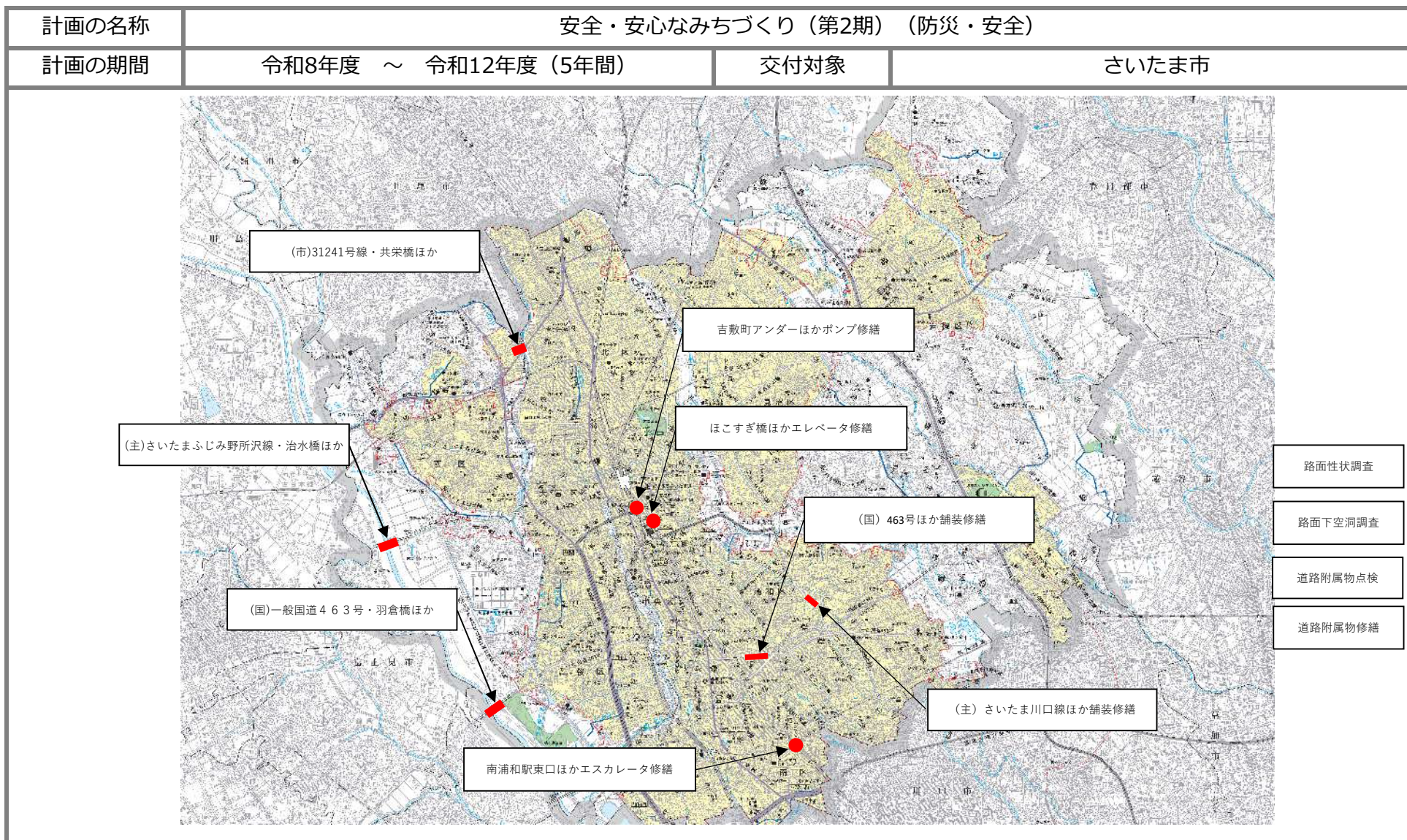
(様式1)

(2) 交付対象事業の詳細											
A 道路事業（基幹事業）											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2		
1	羽根倉橋（国）一般国道463号ほか	道路	耐震補強	-		■	■	■	■	620	
2	治水橋（主）さいたまふじみ野所沢線ほか	道路	耐震補強	-	■	■	■	■	■	3,158	
3	共栄橋（市）31241号線ほか	道路	耐震補強	-	■	■	■	■	■	1,925	
4	（国）463号ほか舗装修繕	道路	舗装修繕	-	■	■	■	■	■	614	
5	（主）さいたま川口線ほか舗装修繕	道路	舗装修繕	-	■	■	■	■	■	1,780	
6	路面性状調査	道路	路面性状調査	-	■	■	■	■	■	129	
7	路面下空洞調査	道路	路面下空洞調査	-	■	■	■	■	■	145	
8	道路附属物点検	道路	道路照明施設・道路案内標識点検	-	■	■	■	■	■	300	
9	道路附属物修繕	道路	道路照明施設・道路案内標識修繕	-	■	■	■	■	■	241	
10	ほこすぎ橋ほかエレベータ修繕	道路	エレベータ修繕	-	■	■	■	■	■	360	
11	南浦和駅東口ほかエスカレータ修繕	道路	エスカレータ修繕	-	■	■	■	■	■	480	
12	吉敷町アンダーほかポンプ修繕	道路	道路ポンプ修繕	-	■	■	■	■	■	122	
合計（12事業）										9,874	
B 関連社会資本整備事業											
1											
2											
3											
合計（〇〇〇〇事業）											
C 効果促進事業											
1											
2											
3											
合計（〇〇〇〇事業）											

担当部局

建設局土木部道路環境課
 TEL : 048-829-1491 FAX : 048-829-1988
 E-mail : doro-kankyo@city.saitama.lg.jp

参考図面



社会資本総合整備計画

安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)

事前評価

令和7年11月7日

建設局土木部道路環境課

1. 整備計画の概要

計画概要

	計画概要
交付金の種類	防災・安全交付金
計画名称	安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)
重点事業	---
計画期間	令和8年度～令和12年度(5年間)
計画目標	道路施設の的確かつ総合的な点検・調査や老朽化・耐震対策を実施することにより、安全・安心なみちづくりを目指す。
事業種別 /事業内容	道路事業(橋梁の耐震補強対策、舗装修繕、 道路付属物点検・修繕工事)

1. 整備計画の概要

安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)

■交付対象事業の詳細

番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業 種別	事業内容 (延長・面積等)	事業実施年度					全体事業費 (百万円)
				R8	R9	R10	R11	R12	
1	はねくら 羽根倉橋(国)一般国道463号ほか	道路	耐震補強		■	■	■	■	620
2	じすい 治水橋(主)さいたまふじみ野所沢線ほか	道路	耐震補強	■	■	■	■	■	3,158
3	きょうえい 共栄橋(市)31241号線ほか	道路	耐震補強	■	■	■	■	■	1,925
4	(国)463号ほか舗装修繕	道路	舗装修繕	■	■	■	■	■	614
5	(主)さいたま川口線ほか舗装修繕	道路	舗装修繕	■	■	■	■	■	1,780
6	路面性状調査	道路	路面性状調査	■	■	■	■	■	129
7	路面下空洞調査	道路	路面下空洞調査	■	■	■	■	■	145
8	道路附属物点検	道路	道路照明施設・道路案内標識 点検	■	■	■	■	■	300
9	道路附属物修繕	道路	道路照明施設・道路案内標識 修繕	■	■	■	■	■	241
10	ほこすぎ橋ほかエレベータ修繕	道路	エレベータ修繕	■	■	■	■	■	360
11	みなみうらわ 南浦和駅東口ほかエスカレータ修繕	道路	エスカレータ修繕	■	■	■	■	■	480
12	きしきちょう 吉敷町アンダーほかポンプ修繕	道路	道路ポンプ修繕	■	■	■	■	■	122

1. 整備計画の概要

安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)

■交付対象事業の位置



2. 主要要素事業

【要素事業名】 羽根倉橋(国)一般国道463号ほか

【事業実施年度】

【詳細位置図】路線名:(国)一般国道463号



年度	R8	R9	R10	R11	R12
		■	■	■	■

【事業内容】 橋りょう耐震補強

【全体事業費】 620百万円(交付対象事業費)

【事業進捗】 事業進捗率:0%(令和7年度3月末時点)
※総工事費に対する執行済み事業費

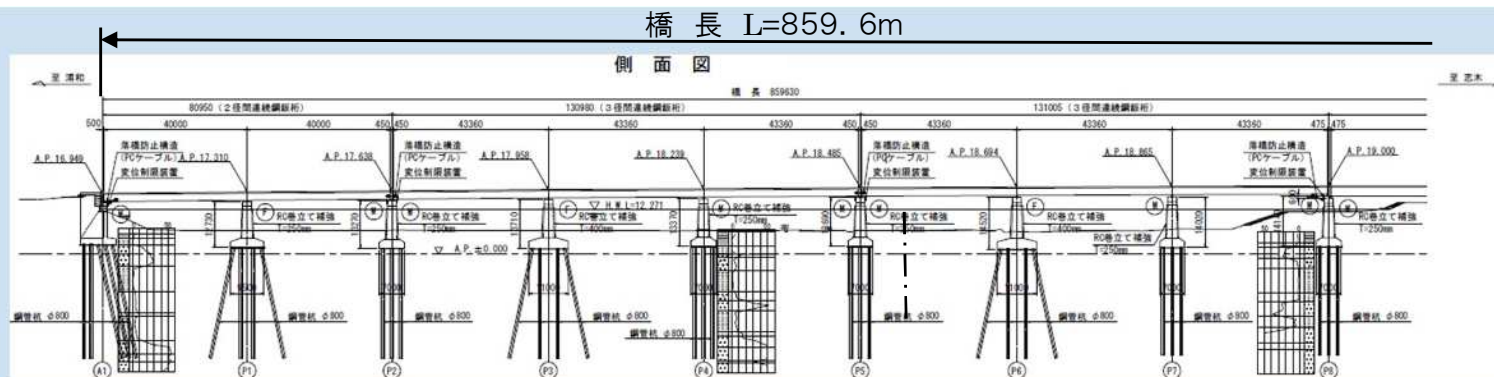
現況と課題:

埼玉県緊急輸送道路に指定された一般国道463号上にある羽倉橋(下り線)は、昭和60年に架設され、一級河川である荒川を跨ぐ重要な橋梁であることから、現行の道路橋示方書に準拠し必要とされる耐震性能を目的とした耐震補強工事を実施する。

【代表側面図】

橋梁形式:

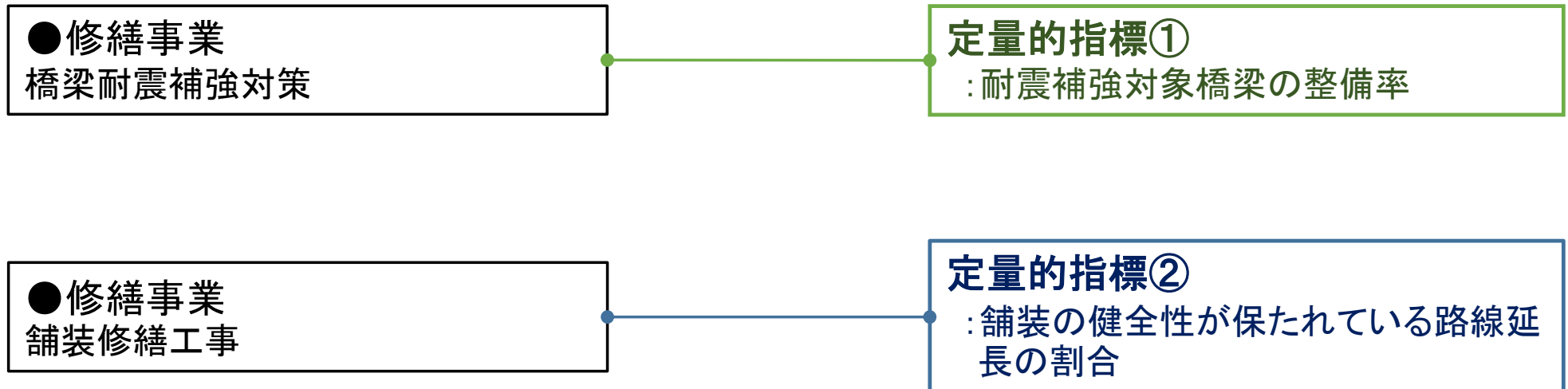
- 2径間連続鈑桁
- 3径間連続鈑桁 (2連)
- 2径間連続鋼箱桁
- 3径間連続鋼箱桁
- 3径間連続鋼箱桁



3. 整備計画の定量的指標

事業種別と定量的指標の関係

■安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)



3. 整備計画の定量的指標

安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)

■定量的指標①:耐震補強対象橋梁の整備率

事業種別	・修繕事業:橋梁の耐震補強対策
計画の成果目標	広域ネットワークである埼玉県緊急輸送道路及び鉄道や高速道路を跨ぐ耐震補強対象橋りょうの整備率の向上を図る。
指標の定義	耐震補強対象橋梁の整備率 (完了橋梁数)／(対象橋梁数(79橋))×100

■定量的指標①の目標値

	現況値	中間目標値	最終目標値
耐震補強対象橋梁の整備率	52%	---	62%

※耐震補強対象橋梁については、「さいたま市橋りょう耐震化実施方針」(第2期)の策定に伴い、優先的に対策を必要とする橋梁として前整備計画から34橋追加しております。

3. 整備計画の定量的指標

安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)

■定量的指標②: 主要な幹線道路の健全度

事業種別	・修繕事業: 道路修繕工事
計画の成果目標	主要な幹線道路において、定期点検の結果より舗装の健全性が保たれている路線延長の割合の維持を図る。
指標の定義	舗装の健全性が保たれている路線延長の割合 (舗装の健全性がⅠ若しくはⅡ($4.0 < MCI$)となる路線延長) ／(市が管理する主要な幹線道路の延長) × 100

■定量的指標②の目標値

	現況値	中間目標値	最終目標値
舗装の健全性がⅠ若しくはⅡ($4.0 < MCI$)となる道路延長率	90%	---	90%以上

※主要な幹線道路については、定期的な舗装の点検（路面性状調査）を実施している約450kmの道路を対象とし、舗装点検要領（国土交通省 道路局）に基づき健全性の判定を行うものとします。

3. 整備計画の定量的指標

安全・安心なみちづくり(第2期)(防災・安全)

■(参考)定量的指標②: 主要な幹線道路の健全度

本市では、路面性状調査により、「ひび割れ」「わだち掘れ」「平坦性」の3つの要素について測定し、これらより算出された舗装の状態を総合的に評価する複合指標であるMCI※により舗装の健全性を評価する。

MCIによる評価では、4以下で「修繕が必要」な段階とされている。

判定	I	II	III		
				III-1	III-2
MCI	$5.0 < \text{MCI}$	$4.0 < \text{MCI} \leq 5.0$	$\text{MCI} \leq 4.0$		
評価	望ましい管理水準	修繕を行うことが望ましい	修繕が必要	使用目標年数に達している	使用目標年数に達していない

表 MCIによる舗装維持管理基準

※MCI(Maintenance Control Index)